

■事績

平成25年5月に津軽三味線の本場・青森県金木町行われた第25回津軽三味線全日本金木（かなぎ）大会の一般の部A級で、大会最高峰の仁太坊（にたぼう）賞を受賞した。10度目の挑戦で頂点に立ち 四国の三味線奏者で初の快挙となる。

堀尾さんは、津軽三味線奏者の父の影響で9歳の時に三味線の世界に入る。24歳の時に、津軽三味線と和太鼓のアンサンブルグループ「だんだん」を結成。愛媛県内を中心に数多くのイベントに参加している。

また韓国で開かれた8か国の伝統楽器奏者による国際コンサート「ザ・ワン」にも2年連続で出演するなど、日本を代表する三味線奏者として高い評価を受けている。県内の小学校で「津軽三味線の基礎講座」を開いたり、一般を対象としたレッスンを行うなど普及にも力を注いでいる。

「技に走らず、心をとらえる奏者に、音の表現者としてチャレンジを続けたい」とますます意欲を燃やしている。

■主な受賞歴

- ・平成17年 第17回津軽三味線全日本金木大会個人一般A級 入賞
- ・平成20年 第20回津軽三味線全日本金木大会個人一般A級 大條和雄賞
- ・平成21年 第6回津軽三味線全国大会 in 神戸2009 兵庫県民謡連合会賞
- ・平成25年 かがやき松山大賞